

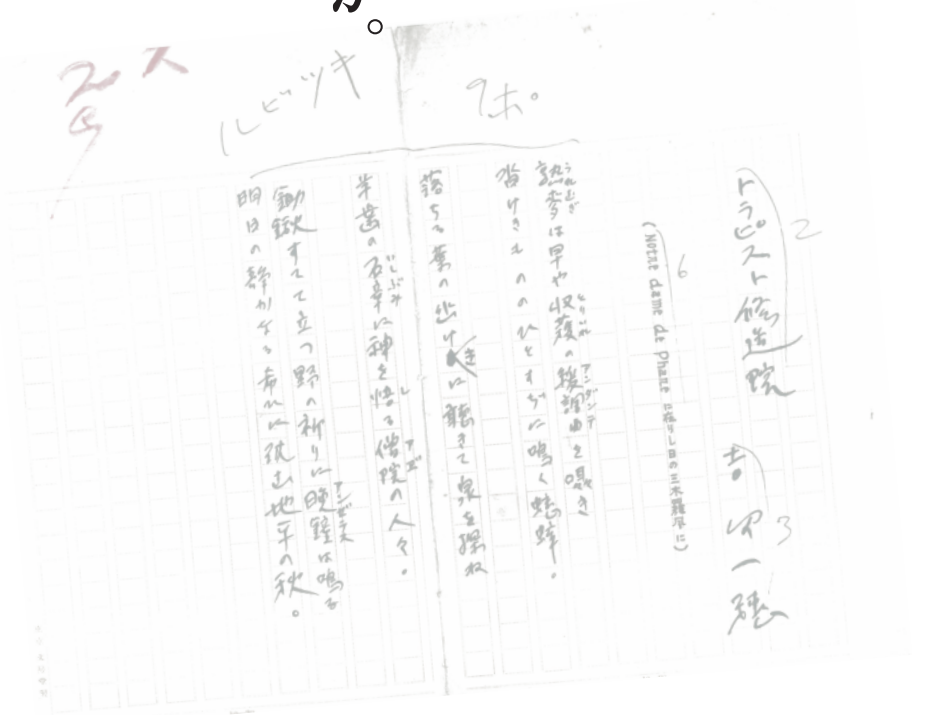
本で遺すという英断 造本と装幀の幻戯書房で

幻戯書房は歌人で作家の辺見じゅんが、父であり、角川書店の創立者である角川源義の創業の精神を受け継ぎ、設立した出版社です。



短歌・俳句・詩、
小説やエッセイ、
学術的な研究論文
写真や絵画などなど
作品を本にしませんか。
形のある紙の本の
手触りとぬくもり
幻戯書房で自費出版。

作家で歌人の辺見じゅんが設立した幻戯書房は創業以来、辺見の本へのこだわりを基軸に、造本と装幀を大事に出版活動を行ってまいりました。そのなかで、作品の質だけでなく、活版印刷、函入りの本、クロス装など愛書家の目に適う本づくりをしてきました。その経験を活かし、自費出版出版社や印刷会社以上の丁寧な本づくりをいたします。



●費用の目安

(お原稿の状態、印刷・製本方法、紙材、装幀により変動します。)

上製	100頁	150頁	200頁	250頁	300頁
300部：A5判	100万円	120万円	140万円	160万円	180万円
300部：四六判	80万円	105万円	125万円	145万円	165万円
500部：A5判	115万円	130万円	150万円	170万円	190万円
500部：四六判	95万円	125万円	140万円	165万円	185万円

●出版流通のご相談もお受けします。

